

課長級職員研修

～ 管理者としての役割とマネジメント～

1. 研修の目的

対象者：課長級職員

管理職としての役割を再認識し、マネジメント能力を向上させることを目的とする。特に自治体運営において不可欠な「判断力」「決断力」に焦点を当て、ケーススタディや演習を通じて実践的なスキルを習得する。

2. 研修内容

	カリキュラム	詳細・得たい成果
9:00	1. オリエンテーション 1) 研修の目的／グラウンドルール／アジェンダ紹介 2) アイスブレイク～管理職としての「悩み」共有～	管理職としての悩みや課題を言語化し、共有できる心理的安全性のある場が形成されている
	2. 管理職の役割と組織マネジメント 1) 管理職に求められる役割・責任 2) 自治体組織特有のマネジメント上の課題とは 3) グループワーク： 「自部署の役割・課題の棚卸」	- 自治体管理職として求められる役割・責任を自分事として捉え直している - 自部署の組織課題を俯瞰的に整理し、管理職として取り組むべきテーマが明確になっている
	3. 自治体における職員のマネジメント 1) 多様な職員を活かすマネジメントのポイント 2) モチベーションとは 3) 動機付け、育成、評価の基本 4) グループワーク： 「部下の指導方法を考える」	- 多様な職員の特性を踏まえた関わり方のポイントを理解している - 動機付け・育成・評価を管理職の重要な役割として認識できている
12:00	4. リーダーシップを発揮するための話す・聴く能力 1) 管理職に求められるコミュニケーション 2) 心理的安全性を高める「聴く力」と「伝える力」 3) ロールプレイング	- 管理職としてのコミュニケーションの影響力を理解している - 心理的安全性を高める「聴く力」「伝える力」を具体的に実践できるイメージを持っている
13:00	5. 課題解決と危機管理（リスクマネジメント） 1) 自治体におけるリスクの捉え方 2) 問題発生時の初動判断 3) グループワーク： 「トラブル発生時のケーススタディ」	- リスクを「発生してから対応するもの」ではなく「予測・管理するもの」として捉えられている - トラブル発生時に、管理職として求められる初動対応の考え方を理解している
	6. より良い「意思決定」のために 1) 「判断」と「決断」のちがいは 2) 管理職が陥りやすい意思決定の落とし穴 3) グループワーク： 「意思決定のプロセス演習」	- 判断と決断の違いを理解し、管理職に求められる決断の重みを認識している - 情報が不十分な状況下でも、組織として納得感のある意思決定を行うための視点を持っている
	7. ケーススタディ 1) 「組織」「ヒト」「リスク」を踏まえた判断・決断 2) グループ発表	より具体的な事例等で考えることで、問題の本質を捉えると共に、思考の解像度を高めることができている
16:30	8. まとめ 1) 研修内容の振り返り、アクションプラン作成 2) 質疑応答	研修内容を踏まえ、自部署・自身の課題に即した具体的な行動目標を設定できている